

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

【参 考 資 料】

- 第2回委員会が出された意見に対する県の対応について . . . 1
- 類似施設における立地状況について . . . 4
- 類似施設における施設整備費について . . . 5
- 類似施設における収支について . . . 6
- 各市町村立体育館における県大会等の開催状況について . . . 8
- 1万人以上規模のコンサートの開催状況（都市部，地方都市別） . . . 10
- 1万人以上規模のコンサートの開催状況（カテゴリ別） . . . 11
- 本会議における論議の状況（令和3年第2回定例会） . . . 12

第2回委員会出された意見に対する県の対応について

意 見	県 の 対 応
<p>未だ体育館が整備に至っていない理由を、今後の議論のためにも総括すべきではないかという意見に対して、何か県の方で検討をされたのか。</p>	<p>・いただいた御意見を踏まえ、体育館が整備に至っていないことを総括した結果、検討プロセスを見直し、検討委員会を設置したこと等を資料として整理（これまでの検討経緯や、検討プロセスの見直し、見直し後の進め方等）</p>
<p>本県の課題である県域全体のバランス、均衡ある発展について十分に検討しなくてよいのか。</p>	<p>・いただいた御意見を踏まえ、新たな総合体育館の整備について、これまでの検討経緯や、検討プロセスの見直し、見直し後の進め方を改めて整理</p>
<p>静岡県の例から、今ある「スポーツの拠点」、「運動の拠点」のところに、隣接あるいは近接する場所を選ぶことも考えられる。</p>	<p>⇒整備予定地は、施設の機能や規模・構成等の検討後、複数の候補地から最もふさわしい場所について検討していただくこととしたい。</p>
<p>コンベンションとか、あるいは展示場のことを考えたら、バスなどの利便性が高いことが重要であり、街との連続性を考えると郊外すぎても困る。</p>	
<p>予算についてある程度の担保や保証がなければ、本件は県民からの関心が高い中で、単なる理想を帯びた夢物語に終わってしまう。</p>	<p>・いただいた御意見を踏まえ、新たな総合体育館の整備について、これまでの検討経緯や、検討プロセスの見直し、見直し後の進め方を改めて整理</p>
<p>予算規模とか所与となる敷地面積が分らない中で、こういうバランスとか、そもそも何をやるかという議論のため、非常に変数だらけで、議論が難しい。</p>	<p>⇒整備費用は、整備予定地案の決定後、レイアウトを検討する中で、検討していただくこととしたい。</p>
<p>現体育館の機能を維持する、あるいは質を上げていくことをベースにプラスアルファをどうするのか。コスト面にも配慮しながら議論する必要がある。</p>	
<p>維持管理について、PFIや指定管理者などを選択するのであれば、公募などの関係もあることから、どのようなスケジュールを設定するのか、早めに検討することが必要である。</p>	<p>・いただいた御意見を踏まえ、新たな総合体育館の整備について、これまでの検討経緯や、検討プロセスの見直し、見直し後の進め方を改めて整理</p>
<p>欠けてはいけない視点として、スタジアム・アリーナ改革でも言われているように、この施設がちゃんと維持・継続できるような財政運営が可能な施設内容としなければいけない。</p>	<p>・類似施設におけるスポーツ利用と多目的利用の割合と収支の関係について整理</p>
<p>収支の観点は非常に大事。この議論は競技面数なんてどうでもいいのかというくらい大事な。</p>	<p>⇒収支は、整備予定地案の決定後、レイアウトなどと合わせて、検討していただくこととしたい。</p>

第2回委員会で出された意見に対する県の対応について

意 見	県 の 対 応
<p>これまでの経緯から、県内市町村は「新たな総合体育館の整備」について関心を持っており、市町村立体育館との役割分担について、市町村との協議・調整が必要ではないか。</p> <p>将来的に「鹿児島アリーナ」と新体育館のすみ分けをどのように考えるのか整理が必要ではないのか。</p> <p>現体育館は、全国的に劣後していることから発議された案件だと思ふので、「アスリートファースト」というか、「スポーツ振興」を軸に置くべきである。</p> <p>市町村の施設が整備されてきた現在において、市民の「する」スポーツは、身近な市町村の施設でやるべきであり、県の拠点となる施設は、他の県と比べて見劣りしない「みる」施設に重点をおいてはどうか。</p> <p>市町村にはないような、例えば、「スポーツミュージアム」や「スポーツ図書館」など、市町村ではできないことをやるという視点が重要ではないか。</p> <p>全国大会や国際大会の招致を目標とした時に、九州でも、今後できる「佐賀アリーナ」などの競争になるので、他県のアリーナと比較される中で、国際スポーツ団体や、日本の競技団体から選びやすい、もしくはこちらの方がいいと言われるような施設でないといけない。</p> <p>「スポーツ振興の拠点」重視でいいが、従来のハコモノでいいのか。他県との横並びではなく、まちづくりの核となる魅力ある施設を整備すべき。</p> <p>「みる」スポーツの機能というのは、スポーツ利用において上位にあるので、「みる」視点で施設を整備すれば「する」視点は包含される。</p> <p>障害者のニーズとして、バリアフリー化ということで、障害者や、高齢者を含むすべての利用者が公平に使用できるように配慮してほしい。(車椅子用のスロープ・エレベーター・駐車場の確保・観客席スペースの確保、トランスジェンダー用の更衣室、サウンドટેブルテニス用の会議室など視覚障害者に配慮した施設)</p> <p>「障害者」に配慮した施設を作れば、「健常者」にとっても抜群に利便性の高い施設になる。</p>	<p>いただいた御意見を踏まえ、新たな総合体育館の整備について、これまでの検討経緯や、検討プロセスの見直し、見直し後の進め方を改めて整理</p> <p>・各市町村立体育館における県大会等の開催状況について整理 ⇒市町村とは、今後、整備が具体化していく段階で協議・調整を実施することとしたい。</p> <p>⇒整備に当たったでの重要な視点として、今後基本構想(案)への反映を検討</p>

第2回委員会では出された意見に対する県の対応について

意 見	県 の 対 応
<p>屋内スポーツ競技団体としては、現在の体育館の老朽化・狭隘の現状を踏まえ、「するスポーツ」を重点に置いてほしい。</p> <p>競技面数については、4面、3面それぞれの良い面があり、我々委員には判断材料がない。</p> <p>現体育館は、競技によっては試合だけでなく練習にも使えないなど、老朽化や狭隘の課題があり、これを踏まえると、競技面数は4面程度が必要ではないか。</p> <p>体育館という用途上、「スポーツ振興」の方に重きを置く必要があるのではないか、その中で各競技が過不足なく開催できる規模・機能が絶対条件になってくる。メインアリーナ・サブアリーナを含めた運営上適切な規模を求めることが重要である。</p>	<p>・新たな総合体育館に必要な競技面数について、客観的、科学的に検討していただくため、主な利用者である屋内競技団体に調査を行いその結果を整理 ⇒第3回検討委員会において、検討していただくこととしたい。</p>
<p>最大収容人数というのは、施設側の言い値であり、議論をミスリードするおそれがある。スポーツ利用、その他の利用でどの程度需要があるか詳細に調査した上で、固定席、可動席、移動席をどうするか、具体的に検討する必要がある。</p> <p>鹿児島県が想定している8千という収容人数は、移動席も含んだ数字なのか。言い換えれば、移動席を抜いたキャパシティは6千という理解でいいのか。コンサート時のMAXの状態を想定して考えるのか、整理が必要ではないか。</p>	<p>・いただいた御意見を踏まえ、新たな総合体育館の整備について、これまでの検討経緯や、検討プロセスの見直し、見直し後の進め方を改めて整理 ・観客席の構成や収容人数の考え方について整理 ⇒第3回検討委員会において委員会としての考え方を整理し、具体的な観客席(固定、可動、移動)の設定は、整備予定地決定後、レイアウトと合わせて検討していただくこととしたい。</p>
<p>類似施設として、大都市圏から1～2時間の施設を挙げているが、実際に大都市圏からの集客があるのか。 また資料を見ると、1万人規模でないとコンサート利用は多くならないと考える。</p> <p>1万人規模のコンサートを開催できるアーティストが限られている中で、鹿児島県は1万人規模を集容できるコンサート需要があるのか。</p>	<p>・類似施設におけるコンサートの開催状況について整理 ①1万人以上規模のコンサートの開催状況(都市部、地方都市別) ②1万人以上規模のコンサートの開催状況(カテゴリ別)</p>

類似施設における立地状況について (各施設の駐車場保有状況及び最寄り駅からのアクセス)

カテゴリ	名称	最大収容人数 (メイン)	立地場所				主なアクセス方法	最寄駅	最寄り駅からの距離 (m)	最寄り駅からの時間 (分)	専用駐車場 台数	共用駐車場 台数	
			県庁所在地	県庁所在地以外									
				政令市・特別区	中核市	その他							
カテゴリ1	仙門市体育館	10,000	○				自家用車	地下鉄 富沢	450	5	99台	0台	
	高崎アリーナ	6,015			○		その他	高崎	800	8	200台	回答無し	
	大阪府立門真スポーツセンター	10,000				○		電車	門真南	100	2	321台	0台
	神戸総合運動公園体育館	4,852	○				電車	市営地下鉄総合運動公園	350	5	68台	50台	
	和歌山ビッグホエール	8,500	○				自家用車	J R和歌山	1,500	15	回答無し	543台	
	高松市総合体育館	5,000	○				自家用車	沖松島	200	2	229台	0台	
	福岡市総合体育館	5,000	○				自家用車	千早	3,500	45	0台	500台	
	大分県立武道スポーツセンター	約5,000	○				自家用車	滝尾	6,300	60	0台	5055台	
カテゴリ2	あづま総合体育館	6,000	○				自家用車	福島	10,200	128	136台	2618台	
	東京体育館	10,000		○			電車	千駄ヶ谷	100	1	79台	0台	
	愛知県体育館	7,407	○				電車	地下鉄市役所	200	3	0台	0台	
	豊田市総合体育館	6,500			○		自家用車	豊田市	1,300	15	560台	0台	
	舞洲アリーナ	7,056	○				公共バス	J R桜島	4,200	45	400台	回答無し	
	大阪府立体育会館	6,000	○				電車	南海難波	400	5	84台	0台	
	大阪市中央体育館	10,000	○				電車	朝潮橋	300	2	128台	0台	
	岡山県総合グラウンド体育館	5,084	○				自家用車	岡山	1,500	20	回答無し	480台	
	広島県立総合体育館	10,001	○				電車	紙屋町西	636	7	0台	200台	
	広島サンプラザホール	6,040	○				電車	新井口	800	10	32台	420台	
	大村市体育文化センター	5,000			○		自家用車	大村	2,000	20	492台	0台	
	鹿児島アリーナ	5,700	○				自家用車	鹿児島中央	2,400	30	498台	0台	
カテゴリ3	宮城県総合運動公園総合体育館	7,063			○		自家用車	利府	3,200	40	140台	5200台	
	静岡県小笠山総合運動公園アリーナ	10,000			○		自家用車	愛野	1,200	15	回答無し	4200台	
カテゴリ4	北海道立真駒内公園屋内競技場	10,770	○				自家用車	札幌市営地下鉄南北線真駒内	1,700	20	124台	342台	
	グリーンドーム前橋	20,000	○				自家用車	前橋	3,500	40	2200台	2200台	
	さいたまスーパーアリーナ	22,500	○				電車	さいたま新都心	70	3	675台	0台	
	国立代々木競技場	12,934		○			電車	J R原口	400	5	58台	164台	
	福井県産業振興施設	10,000			○		自家用車	J R鯖江	1,500	15	1800台	0台	
	大阪城ホール	16,000	○				電車	J R大阪城公園	200	5	78台	0台	
	神戸ポートアイランドホール	8,000	○				電車	神戸新交通 市民広場	350	3	10台	0台	
	西日本総合展示場本館	6,900		○			電車	小倉	700	9	180台	0台	
	西日本総合展示場新館	10,000		○			電車	小倉	350	5	0台	397台	
	北九州メディアドーム	18,700		○			自家用車	香春口三萩野	600	7	1833台	回答無し	
	マリンメッセ福岡	15,000	○				公共バス	呉服町	1,400	17	1360台	0台	
福岡国際会議場	1,000	○				公共バス	呉服町	1,000	12	0台	0台		
福岡国際センター	10,000	○				公共バス	呉服町	1,400	17	165台	回答無し		
カテゴリ5	群馬県総合スポーツセンターぐんまアリーナ	9,000	○				自家用車	群馬総社	4,000	50	68台	1830台	
	有明アリーナ	15,060		○			回答なし	ゆりかもめ有明テニスの森	650	8	153台	回答無し	
	武蔵野の森総合スポーツプラザ	10,000			○		電車	飛田給	400	5	43台	134台	
	いしかわ総合スポーツセンター	6,000	○				自家用車	金沢	5,700	66	8台	428台	
	長野市オリンピック記念アリーナ	20,000	○				自家用車	朝陽	3,600	46	900台	0台	
	長野市若里多目的スポーツアリーナ	8,000	○				自家用車	長野	1,800	23	0台	1190台	
	浜松アリーナ	8,000		○			自家用車	J R天竜川	1,500	15	656台	0台	
	京都府立体育館	8,000	○				自家用車	J R円町	600	8	80台	0台	
	熊本県立総合体育館	4,110	○				自家用車	上熊本	500	5	300台	0台	
熊本産業展示場	10,000			○		自家用車	熊本	12,000	137	2200台	0台		

※ 鹿児島アリーナは臨時駐車場を含む台数。

類似施設における施設整備費について

(単位:百万円(費用は消費税抜))

カテゴリ	施設名称	総事業費	うち建設費
カテゴリ 1	A	6,392	5,677
	B	14,882	14,304
	C	9,720	-
	D	11,574	11,574
	E	3,415	-
	F	10,443	-
	G	7,311	6,575
カテゴリ 2	A	26,709	26,709
	B	11,000	-
	C	1,213	1,213
	D	9,956	9,554
	E	14,000	14,000
	F	1,150	-
	G	48,700	-
	H	3,500	-
	I	35,985	35,580
	J	10,700	-
カテゴリ 3	A	11,970	11,351
	B	9,619	-
カテゴリ 4	A	2,152	2,152
	B	18,300	-
	C	127,624	68,204
	D	2,820	2,153
	E	22,134	16,332
	F	6,700	-
	G	30,476	28,454
カテゴリ 5	A	10,698	10,104
	B	12,234	-
	C	1,166	-
	D	3,719	3,300
	E	18,300	11,600
総事業費平均		16,276	

※ みずほ総研提供データをもとに整理

※ 総事業費の平均は約163億円

ただし、総事業費合計は施設の規模等による変動も大きいと推定され、非常に幅がある結果となっている。

類似施設における収支について

カテゴリ	No.	実績(年度)		施設名	利用割合		利用料収入 (千円)	支出 (千円)	自立度 (収入/支出)	平均自立度
		H30	R1		スポーツ	多目的				
カテゴリ1	1	●	●	A	99%	2%	45,805	228,857	0.2	0.38
	2	●	●	B	100%	0%	55,056	90,413	0.6	
	3	●	●	C	80%	20%	159,674	201,016	0.8	
	4	●	●	D	100%	0%	52,119	245,160	0.2	
	5	●	●	E	100%	0%	10,833	119,072	0.1	
カテゴリ2	6	●	●	F	75%	25%	301,837	588,651	0.5	0.5
	7	●	●	G	97%	3%	—	—	—	
	8	●	●	H	100%	0%	—	—	—	
	9	●	●	I	75%	25%	184,794	263,240	0.7	
	10	●	●	J	90%	10%	370,087	232,724	1.6	
カテゴリ3	11	●	●	K	60%	40%	241,844	349,185	0.7	—
	12	●	●	L	85%	15%	施設単体の収支は不明	施設単体の収支は不明	—	
	13	●	●	M	60%	40%	290,939	631,749	0.5	
	14	●	●	N	60%	40%	施設単体の収支は不明	施設単体の収支は不明	—	
	15	●	●	O	53%	47%	施設単体の収支は不明	施設単体の収支は不明	—	
カテゴリ4	16	●	●	P	31%	69%	597,242	606,840	1.0	1.78
	17	●	●	Q	8%	92%	118,217	48,692	2.4	
	18	●	●	R	2%	98%	279,840	191,615	1.5	
	19	●	●	S	4%	96%	1,018,808	328,324	3.1	
	20	●	●	T	0%	100%	486,187	553,640	0.9	
カテゴリ5	21	●	●	U	—	—	72,034	298,147	0.2	0.45
	22	●	●	V	—	—	119,982	266,187	0.5	
	23	●	●	W	—	—	56,537	85,374	0.7	
	24	●	●	X	—	—	78,518	222,170	0.4	
	25	●	●	Y	—	—	111,184	327,497	0.3	
(参考)										

※ 昨年度みずほ総合研究所が行った「需要予測調査」の類似施設へのアンケート結果をもとに作成

(収入・支出ともに回答が得られた施設について記載 (G, Hを除く))

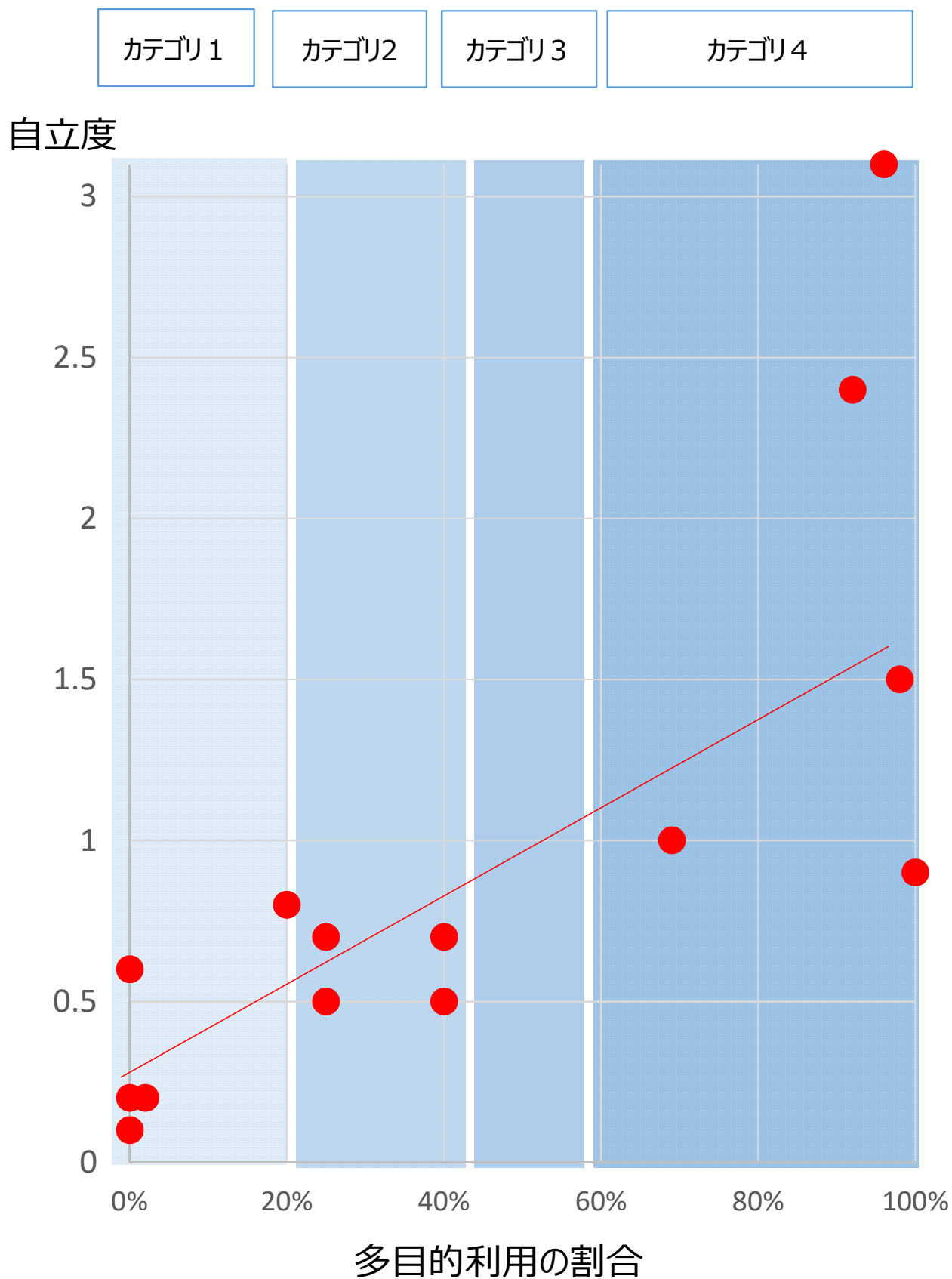
※ H30に●が付いた施設の収支は、令和2年2月県の「新たな総合体育館の検討結果」の「他自治体における事例調査」結果をもとに作成

※ 支出は維持管理費・運営費・光熱水費の合計 (ただし、H30年度実績は維持管理費のみ)

※ 自立度が1.0以上であれば、独立採算に近い運営ができていないと判断できる。

類似施設における収支について

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室



各市町村立体育館における県大会等の開催状況について

1 県大会の開催状況について

屋内スポーツ技団体に対し、令和元年度の県大会の開催状況について、確認した結果、下記のとおり

(1) 県体育館及び武道館での開催

県大会216大会のうち約3割の66大会が現体育館及び武道館で開催

(2) 市町村立体育館での開催

屋内スポーツ競技団体は、現体育館が老朽化しており、十分な競技面数も確保できないため、市町村立体育館で県大会を開催するケースも多い。

県大会216大会のうち約7割の150大会が市町村立体育館で開催

このうち市町村から屋内スポーツ競技団体に対し要望・誘致して開催した大会は無かった。

(3) 課題

① 非効率な大会運営

- ・ 大会参加数が多い競技（バスケット、バレー、ハンド）は、限られた大会日程で試合数の多い1回戦・2回戦を消化しなければならないため、市町村を跨いだ複数の会場で開催しているケースが多い。

② 生徒への負担等

- ・ 生徒は勝ち進むたびに試合会場が変わり、市町村を跨ぐ移動を余儀なくされるケースが多い。
- ・ 一部の競技では、帰島船便の乗船時刻の都合上、最後まで大会に参加できない生徒もいる。

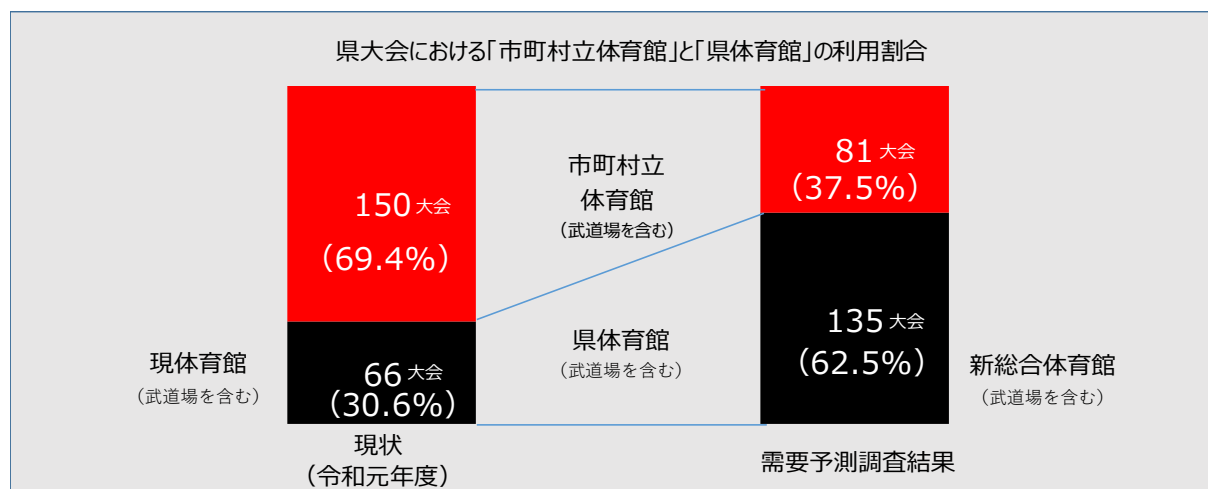
2 需要予測調査結果（県大会関係）について

屋内スポーツ競技団体に対し、新たな総合体育館の利用意向等に関する調査を実施した結果、下記のとおり

【調査結果】

- ・令和元年度に屋内スポーツ競技団体が主催した県大会は216大会
- ・うち新総合体育館への「意向あり・条件付きあり」の大会は202大会
- ・県において、大会規模や開催日程の重複等も考慮し選定を行った結果、新総合体育館で開催される県大会は135大会

大会数	県大会の開催状況 (令和元年度)		需要予測調査結果		(B) - (A)
	市町村(A)	現体育館	市町村(B)	新体育館	
216	150	66	81	135	-69
100%	69.4%	30.6%	37.5%	62.5%	



● 「市町村立体育館」と「県体育館」の利用割合は 7 : 3 ⇒ 4 : 6

※それぞれ武道場を含む

3 市町村との役割分担について

市町村立体育館との役割分担やすみわけ等については、整備が具体化していく段階で、当該市町村と協議・調整を実施することとしたい。

1 万人以上規模のコンサートの開催状況（都市部，地方都市別）

H29年観客動員数上位20組のコンサート開催状況について，みずほ総研提供データをもとに整理

1 開催地毎の会場

開催地	会場	主な会場
都市部	21施設	北海道立総合体育センター（北海道札幌市） さいたまスーパーアリーナ（埼玉県さいたま市） 東京体育館（東京都渋谷区） 広島県立総合体育館（広島県広島市） マリンメッセ福岡（福岡県福岡市）
地方都市	6施設	静岡エコパアリーナ（静岡県袋井市） サンドーム福井（福井県越前市） 三重県営サンアリーナ（三重県伊勢市）

2 開催地毎の公演状況

開催地	組数	公演数
都市部	123組	367公演
地方都市	26組	63公演
計	149組	430公演

※ 組数，公演数は，延べ数

3 会場種毎の公演数

会場	公演数	都市部	地方都市
スタジアム・ドーム	153公演	152公演	1公演
アリーナ・体育館	146公演	111公演	35公演
ホール	71公演	71公演	0公演
その他（展示場等）	60公演	33公演	27公演
計	430公演	367公演	63公演

※ 公演数は，延べ数

1万人以上規模のコンサートの開催状況（カテゴリ別）

カテゴリ	施設名	公演状況		平均 公演数
		組数	公演数	
カテゴリ 1	なし	—	—	—
カテゴリ 2	A	3	5	9.7
	B	1	1	
	C	10	23	
カテゴリ 3	D	10	27	
カテゴリ 4	E	7	17	17.1
	F	1	2	
	G	7	17	
	H	5	12	
	I	12	39	
	J	11	31	
	K	1	2	
カテゴリ 5	L	1	2	
(参考)	M	2	6	

※ H29年開催実績

本会議における論議の状況（令和3年第2回定例会）

鹿児島県総合政策部 スポーツ施設対策室

質問要旨	答弁要旨
<p>先行事例調査の実施予定と調査の概要について示していただきたい。</p>	<p>先行事例調査については、検討委員会における総合体育館の機能や規模・構成などの検討に資するために実施するものであり、県としては、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、できるだけ早期に実施したいと考えている。</p> <p>具体的には、委員に施設のイメージなどを掴んでいただくことを目的に、大阪市中央体育館と和歌山ビッグホエールなどを対象に、メインアリーナやサブアリーナ、柔剣道場、諸室など、施設の規模・構成や、その管理運営状況等について調査を行うこととしている。</p>
<p>需要予測調査の結果と第2回検討委員会における主な協議内容について示していただきたい。</p>	<p>需要予測調査については、専門的な知見を有するコンサルタントを活用し、類似施設の利用状況、各種大会の開催状況、コンサート・イベントの市場動向等の調査に加え、屋内スポーツ競技団体への利用意向調査などを行い、新たな総合体育館の需要予測として、メインアリーナの利用割合については、スポーツ利用が概ね76パーセントから87パーセント程度、多目的利用が概ね13パーセントから24パーセント程度、利用者数については、概ね20万人から33万人程度、などの結果を得たところ。</p> <p>先般開催した第2回の検討委員会においては、この結果を説明し、具体的な施設の規模、機能、構成等について活発な御議論をいただいたところ。</p> <p>委員会では、新たな総合体育館の在り方に関し「スポーツ利用」を軸とすることについて概ね委員間の共通認識が得られたほか、一定規模の競技面数を求める意見、あるいは、障害者や高齢者を含めた利用者への配慮を求める意見、「みる」スポーツの視点で整備をすれば、「する」視点も包含されるといった、今後の検討に当たっての論点など、様々な意見が出されたところ。</p> <p>県としては、これらの意見を整理した上で、次回の検討委員会で引き続き検討していただきたいと考えている。</p>

本会議における論議の状況（令和3年第2回定例会）

鹿児島県総合政策部 スポーツ施設対策室

質問要旨	答弁要旨
<p>今後の施設の機能、規模・構成等の検討及び候補地の検討に向けた取組とスケジュールについて示していただきたい。</p>	<p>新たな総合体育館の整備に向けて、需要予測調査の取りまとめ結果や先行事例調査等を踏まえ、検討委員会において、本年夏頃を目途に、具体的な施設の機能や規模・構成等について検討していただき、その上で、整備候補地などについて検討し、来年1月下旬を目途に、最終的な基本構想（案）まで作成していただくこととしている。</p> <p>県としては、基本構想を策定する過程において、屋内スポーツ競技団体の御意見を伺うとともに、関係する市町村とも連携を図ってまいりたいと考えている。</p> <p>また、検討委員会における検討状況については、節目節目で県議会に御説明し、御論議いただくとともに、パブリックコメント等により県民の御意見も伺った上で、本年度中の基本構想策定を目指して取組を進めてまいりたいと考えている。</p>
<p>新たな総合体育館について、知事の求めるコンセプトは何か、体育館機能の充実に特化したものか、アーリーナの整備で地域振興に資するものとしたのか、示していただきたい。</p>	<p>新たな総合体育館については、これまでの検討経過や県議会での御論議などを踏まえつつ、機能や規模、構成など、どのような施設を整備すべきかを十分に議論する必要があると考えている。</p> <p>また、これらの議論を行うに当たっては、透明性を確保しながら検討を進めてまいりたいと考え、昨年度、県内外の各分野の専門家を構成員とする「総合体育館基本構想検討委員会」を設置したところ。平成30年2月の「大規模スポーツ施設の在り方検討委員会」の提言においては、新たな総合体育館には、「する」、「みる」、「ささえる」の3つの視点に配慮した本県のスポーツ振興の拠点としての機能に加え、多目的利用による交流拠点としての機能があることが望ましいとされているところ。</p> <p>検討委員会には、この提言をベースに検討をお願いしているところであり、県としては、同委員会の検討状況を、節目節目で、県議会に御説明し、御論議いただき、その上で、最終的な基本構想を策定したいと考えている。</p>

本会議における論議の状況（令和3年第2回定例会）

鹿児島県総合政策部 スポーツ施設対策室

質問要旨	答弁要旨
<p>あるべき体育館の姿について、もっと広く県民の考えを聞く機会を設ける必要があるのではないか。検討委員会が実施しても構わないと思うが、知事は県民の意見などのように体育館整備に反映させていくのか示していただきたい。</p>	<p>新たな総合体育館については、これまで、県民や屋内スポーツ競技関係者などを対象に、望ましい機能や立地で重視すべき点などについてアンケート調査を実施するなど、県民の御意見を伺いながら検討を進めてきたところ。</p> <p>県としては、これらの検討経過なども踏まえながら、検討委員会において、施設の機能、規模・構成や整備候補地などについて検討し、基本構想(案)まで作成していただくこととしている。</p> <p>同委員会の検討状況については、節目節目で県議会に御説明し、御論議いただくとともに、基本構想(案)の策定後、パブリックコメントを実施することにより、県民の御意見も最終的に御確認させていただきたいと考えているところ。</p>
<p>「鹿児島・谷山のみらいを考える会」が県体育館の整備地等に関する要望を発表したが、これを検討委員会に情報提供する考えはあるのか。</p> <p>また、こうした各種団体等を含め県民からの要望等はあるのか、県の対応も含めて示していただきたい。</p>	<p>新たな総合体育館については、御指摘の団体のほか、知事へのたよりなどを通じ、特に整備場所に関して、様々な御意見・御要望をいただいている。</p> <p>検討委員会においては、現在、施設の機能、規模・構成等の検討を行っており、その上で、これらを踏まえ、複数の候補地の中から最もふさわしい整備候補地について検討を行っていただくこととしている。</p> <p>整備候補地の検討に当たっては、いただいた様々な御意見・御要望も参考として、各委員の専門的な見地から客観的に御論議いただきたいと考えているところ。</p>
<p>新たな総合体育館の整備に係る予算の規模について、どの程度までを許容範囲と考えているか、知事の考えを示していただきたい。</p>	<p>新たな総合体育館の施設整備費につきましては、施設のレイアウトが決まらないと算出が困難であることから、試算に当たっては、整備予定地を決定する必要がある。</p> <p>新たな総合体育館については、検討委員会において、施設の機能、規模・構成等を十分議論した上で、そのコンセプトにふさわしい整備予定地を決定することとしている。</p> <p>このことから、施設整備費については、検討委員会において、整備予定地の決定後、施設のレイアウトを検討する中で御論議いただき、基本構想(案)において、大まかな額が示されることとなると考えている。</p>

本会議における論議の状況（令和3年第2回定例会）

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

質問要旨	答弁要旨
<p>第2回検討委員会では、施設の機能・構成等の検討について、次へ進むための一定の結論を得ていない。先行事例の視察も終えていない中で、今年度中に基本構想が出来上がるのか心配だが、県の見解を伺う。</p>	<p>新たな総合体育館については、第2回の検討委員会において、需要予測調査のとおりまとめ結果を説明し、施設の機能、規模・構成等について活発な御議論をいただいたところ。 委員会では、新たな総合体育館の在り方に関し「スポーツ利用」を軸とすることについて概ね委員間の共通認識が得られたほか、一定規模の競技面数を求める意見、障害者や高齢者を含めた利用者への配慮を求める意見、「みる」スポーツの視点で整備をすれば、「する」視点も含まれるといった、今後の検討に当たつての論点など、様々な意見が出されたところ。 県としては、これらの意見を整理した上で、次回の検討委員会で引き続き検討していただきたいと考えている。 先行事例調査については、検討委員会における総合体育館の機能や規模・構成などの検討に資するために実施するものであり、県としては、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、できるだけ早期に実施したいと考えている。 その上で、検討委員会において、施設の機能、規模・構成や整備候補地などについて検討し、来年1月下旬を目途に、基本構想(案)まで作成していただくこととしている。 また、検討委員会の検討状況については、節目節目で県議会に御説明し、御論議いただくとともに、パブリックコメント等により県民の御意見も伺った上で、本年度中の基本構想策定を目指して取組を進めてまいりたいと考えている。</p>
<p>新総合体育館基本構想策定支援業務委託に係るプロポーザルの選定結果は、梓設計九州支社が411点、次点が314点と、あまりに差が開いている。ついでに、審査会の5名の委員の職名を示すとともに、選定作業の中でどのように選定されたのか示していただきたい。</p>	<p>基本構想策定支援業務委託については、関係部局の課長級及び課長補佐級の職員5人で構成する企画提案審査会を設置し、最優秀提案者の選定を行ったところ。 審査会では、提案者の企画提案書やプレゼンテーションの内容について、あらかじめ設定した審査基準により審査項目ごとに評価を行い、梓設計九州支社を最優秀提案者として選定した。 同社の提案内容については、これまでの体育館の検討経過を踏まえ、基本構想検討委員会における検討スケジュールを念頭に置いた具体的な業務の進め方が提案されていた点や、機能が類似する施設の基本構想等の業務を多数受託するなど業務実績が豊富な点が評価され、特に、これらの項目で、他者の提案内容と評価点数に開きが生じたところ。</p>

本会議における論議の状況（令和3年第2回定例会）

鹿児島県総合政策部 スポーツ施設対策室

質問要旨	答弁要旨
<p>コンベンション・展示機能を備える施設に係る整備可能性調査は、新総合体育館の基本構想が策定される時点では調査結果が明らかになっていない状況にある。同調査結果が出ていない状況の中で、総合体育館基本構想検討委員会から整備予定地は示されないという考えでいいのか伺う。</p>	<p>コンベンション・展示機能を備える施設の整備検討については、ドルフィンポート跡地を活用した両機能の整備を検討することとしたマニフェストを踏まえ、今年度の整備可能性調査において、県内外の類似施設の整備・運営状況や、コンベンション・展示会の市場動向、ドルフィンポート跡地における施設整備の条件整理などを行うこととしている。</p> <p>一方、新たな総合体育館については、「スポーツ振興の拠点としての機能に加え、多目的利用による交流拠点としての機能があることが望ましい」として「大規模スポーツ施設の在り方検討委員会」の提言をベースに、昨年度設置した検討委員会において、施設の機能や規模・構成等の検討を行い、その上で、これらを踏まえ、複数の候補地から最もふさわしい整備候補地について検討を行っていただくこととしている。</p> <p>このように、両施設は、それぞれの考え方を基にして検討を進めているところであるが、新たな総合体育館の整備に当たっては、鹿児島港本港区エリアを含め、可能性のある土地の現状・動向なども見ながら、検討を進めてまいりたいと考えている。</p>
<p>現体育館の課題として「全国・国際レベルの競技大会の開催には狭隘である」ことが挙げられているが、8千人規模であれば国際大会の誘致は難しい。県としては国際大会を誘致する考えはないのか示していただきたい。</p>	<p>アリーナスポーツ協議会が示したアリーナ標準においては、観客席8千席程度の中規模アリーナでバスケットボール等の国際大会が想定されているところ。</p> <p>今回の需要予測調査においては、この規模を前提として仮置きし、中央競技団体に誘致可能性がある大会について調査を行ったところ。</p> <p>その結果、国際大会の誘致可能性について一定の需要が示された一方で、8千席程度の規模を理由に可能性がないと回答した団体はなかったところであり、県としては、国際大会についても誘致に取り組むこととしている。</p> <p>なお、観客席の規模については、今後、需要予測調査の結果なども踏まえながら、検討委員会において、施設の規模・構成等を協議する中で、施設に望ましい最大収容人数をはじめ、固定席、可動席の割合など具体的に検討することとしている。</p>

本会議における論議の状況（令和3年第2回定例会）

鹿児島県総合政策部 スポーツ施設対策室

質問要旨	答弁要旨
<p>視察先として和歌山ビッグホエールと大阪市中央体育館を選定した理由を示していただきたい。 検討委員会で指摘されたように、海外の先進事例を視察することや、国内では最新の沖縄アリーナを視察することが必要と考えるが見解を示していただきたい。</p>	<p>先行事例調査については、検討委員会の各委員からの意見を踏まえ、スポーツ利用に加えて一定の多目的利用の実績がある施設の規模・構成や管理運営状況を調査する観点や、大都市圏からの時間距離が類似する施設の状況を調査する観点から、大阪市中央体育館と和歌山ビッグホエール等を調査先として選定したところ。 同調査は、委員に施設の具体的なイメージを掴んでいただくために実施するもので、調査先については、新たな総合体育館として想定する、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の3つの視点に配慮した一定規模の競技面数を有する施設としたことから、基本的にバスケットボールコート1面で運用されている「みる」スポーツを重視した沖縄アリーナや類似する海外の施設については、対象としていないところ。</p>

本会議における論議の状況（令和3年第2回定例会）

鹿児島県総合政策部 スポーツ施設対策室

質問要旨	答弁要旨
<p>本会議の提案理由で「県は、検討委員会の検討結果を踏まえ、県民の意見も伺いながら、今年度中の基本構想策定を目指して取組を進める」とあるが、どのようにして意見を聴取するのか、方法とスケジュールを示していただきたい。</p>	<p>新たな総合体育館については、検討委員会において、本年夏頃を目的に、具体的な施設の機能や規模・構成について検討していただき、その上で、整備候補地などについて検討し、来年1月下旬を目途に、最終的な基本構想（案）まで作成していただくこととしている。</p> <p>同委員会における検討状況については、節目節目で県議会に御説明し、御論議いただくとともに、基本構想（案）の作成後、パブリックコメントにより、県民の御意見を伺いたいと考えている。</p>
<p>収支バランスを見込める多目的利用割合を高めた施設整備について、しっかりと検討する必要があると考えるが、総合体育館のプロフィットセンターとしての位置付けについて、県の見解を伺う。</p>	<p>新たな総合体育館については、平成30年2月の「大規模スポーツ施設の在り方検討委員会」の提言において、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」の3つの視点に配慮した本県のスポーツ振興の拠点としての機能に加え、多目的利用による交流拠点としての機能があることが望ましいとされたところ。</p> <p>また、これらの機能を有することにより、賑わいの創出や経済波及効果など、地域活性化とともに施設の収益性にも寄与するとされたとされており、現在、検討委員会に対し、この提言をベースに検討をお願いしているところ。</p> <p>昨年度実施した需要予測調査においては、スポーツ利用の割合が高い施設については、一定の指定管理料を自治体が負担して運営を行っている状況が確認されたところ。</p> <p>しかしながら、こうした施設においても、収支の改善を図るため、イベントや大会誘致などにより収入を上げる取組がなされており、本県における新たな総合体育館の整備に向けた検討に当たっても、重要な視点であると認識している。</p> <p>新たな総合体育館におけるスポーツ利用と多目的利用のバランスについては、検討委員会において、需要予測調査の取りまとめ結果等も踏まえながら引き続き御検討いただくとともに、大まかな収支予測について、整備予定地の決定後、レイアウトなどと合わせて具体的に検討していただくこととしている。</p>